

受大総第2661号
平成30年12月28日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町長 竹口 大紀



議員と語る会の町民要望について（回答）

平成30年12月13日付発大議542号で報告のありました、平成30年11月に開催された「議員と語る会」で、町民から行政に寄せられた意見・要望等について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 大山開山1300年祭が一過性のものにならないよう、総括と今後の計画を示してほしい

平成30年度、大山開山1300年祭が終わり多くの方が大山を訪れました。このことは、メディアを通じて広く宣伝した効果であると考えます。ただ、行政だけではなく、民間を含めて一丸となった取り組みに、全国から注目をいただいたものです。

刀剣など新たな素材の磨き上げや、地域が一体となった取り組みは次へと繋がるものであります。大山開山1300年祭関連で多くのイベントを行い、イベント集客数は253千人でありました。県西部の入込客（1月～9月）は対前年比122%で、大山登山や大山寺への観光客も増加しています。経済効果も十億円以上になると試算されています。

また、「大山学」をはじめとした学習講座も公民館を中心に積極的に開設され、多くの方に学んでいただきました。

今後は、この遺産を継承し、更なる磨き上げと、より一層の官民連携を深め事業に取り組みます。具体的には、イベント中心になりますが、平成32年度まで地方創生推進交付金事業で実施いたします。平成31年度については、イベント事業の精査をしながら、次年度に繋げてまいります。

2. 地域自主組織の活動が、公民館などの事業と重なっていると見られる部分もある。自主組織の活動はどうチェックされているのか。また、結果が出せない組織への交付金はいつまで出し続けるのか。

地域自主組織は、「住民と協働したまちづくり」を推進していくために大変重要な組織であると考えております。公共サービスの範囲が拡大していく中で、行政だけでは不十分、また行政サービスを行えない部分が発生する可能性があります。

現在、行政が行っていた業務を地域自主組織へ委託業務としてお願いしていく方向で取り組みを進めています。今年度の大きな委託業務では、友好館の管理運営業務、仁王堂公園管理業務等を地域自主組織に委託しております。

また、公民館などの事業と重なっていると見られる部分があるとのことですが、公民館は、各地域の課題解消のための活動や住民の交流活動、文化的で心豊かな生活の実現のための活動などを支援し、学習の機会を提供する社会教育機関です。

公民館活動は行政運営で、地域自主組織の活動は住民運営という違いがありますが、対象とする地域と住民が同じで、目的も似通うことから、共催事業も多くあります。

今後、公民館活動やサークル活動の支援、会議などの施設利用への対応業務および施設管理を、地域自主組織へ委託することなどについて検討し、二重行政とならないように取り組みを進めていきたいと考えております。

地域自主組織の活動のチェックにつきましては、担当職員による施設訪問やイベントへの参加、集落支援員から活動内容の聞き取りや、補助金の交付申請書時と実績報告時にチェックをしております。地域自主組織育成支援交付金については、現在のところ減額する予定はありませんが、町からの委託事業受託などにより自主財源の確保を図っていただくように依頼しているところです。

今後も地域自主組織の取り組みにつきまして、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

3. 遊休施設・土地を賃貸、売却するなど有効に活用してほしい。(御来屋保育所跡地5年以上放置されている)

遊休施設・土地の賃貸、売却などの活用につきましては、ホームページ等で賃貸・売却希望者を募っておりますがなかなか希望者がいないのが現状です。ただ近年、一つ二つですが賃貸・売却の実績もあり、今後も有効活用に努めてまいります。

なお、旧御来屋保育所跡地につきましては、払下げ希望がありますが敷地内に赤線があることから測量をし、御来屋地区の活用がなければ売却する予定としております。

4. 公共施設の男性用トイレにも、おむつ交換台を設置してほしい。

公共施設でのおむつ交換については、多目的トイレにおむつ交換台が設置してある施設もございますのでそちらをご利用ください。また、多目的トイレに未設置の施設については順次整備していきたいと考えています。

おむつ交換でお困りの際は、各施設の職員へお問い合わせください。

5. 空き家が老朽化する前に空き家バンクに登録してもらえるように取り組んでほしい。

空き家が老朽化する前に空き家バンクに登録し、空き家を有効活用することは人口減少対策、地域活性化などの観点から大変重要なことであると認識しております。

しかし個人財産である空き家の活用については、「年に数回利用する」、「家財が残っている」などの理由でなかなか登録が進まない現状があります。

このため、地域自主組織などのご協力をいただきながら、「大山町空き家登録奨励金制度」を設けて登録の推進をお願いしているところです。

空き家が老朽化する前に活用が進むよう、今後も取り組みを進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

6. (例えば、自主防災組織) 防災士の資格取得に助成できないか。

防災士養成につきましては、今後3年間、県が補助し、県下、180人程度を養成する予定です。

本町におきましては、開催日時が決定次第、自主防災会、集落等に連絡し、参加者を募る考えです。

7. (昼休憩の時間帯ではあったが) 役場窓口でしばらく放置された。窓口業務の改善を望む。

常日頃、待っているお客様がいた場合には、声をかけて待っていただくなり要件をうかがうように職員一同心がけています。しかし今回案内の声かけもなかったことについて大変申し訳なく思います。

今後とも、窓口にお越しになったお客様に声をかけることを徹底して、お客様に不便をかけないようにしたいと思います。

8. 地区を限定しない奨学金の創設を。

将来大山町へ貢献できるような奨学金度について財政等も考慮しながら検討してまいります。